

83年間ありがとう

養老牛小学校

北海道新聞

発行所
北海道新聞社

郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
©北海道新聞社2011

号外

インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp

ご購読申し込みは
0120-464-104

地域での学びいつまでも



大きな声で思い出の詰まった校歌を歌う児童たち

【中標津】中標津町立養老牛小学校(盛繁治校長、児童数10人)の閉校式が23日、同校で行われた。卒業生、関係者ら約220人が出席。地域の人たちとともに歩んだ83年の道のりを振り返った。

式典では児童会長の井野忍君ら在校生、卒業生、地域の人たちが声を合わせて慣れ親しんだ校歌を斉唱。盛校長が「養老牛の学校で学んだことは、心の中に生き続けるとともに、次の世代に受け継がれていくものだと思います」と式辞を述べた。

続いて、来賓の小林実町長、千葉俊文根室教育局長があいさつをした。

最後に10人の児童全員で「別れの言葉」。胸

いっばいに詰まった養老牛小の思い出を語り継いだ。

養老牛小は1929年(昭和4年)の開校からこれまでに750人の卒業生を送り出してきた。周囲の豊かな自然とのふれあい教育を重視。1973年(昭

和48年)に発足した養老牛少年グリーンクラブは、植樹などの緑化や街頭での緑の募金活動に取り組んできた。2000年(平成12年)には知事から、11年には北海道森と緑の会から感謝状を受けている。

式辞を述べる盛繁治校長

牛小学校閉校式・養老牛へき地保育所閉所式



1929年(昭和4年)5月に中標津尋常小学校養老牛特別教授場として開校、同年6月、養老牛尋常小学校へと改称した。31年(昭和6年)には児童数が119人に。

47年(昭和22年)に新制中学を併置。49年(昭和24年)には現在位置

特別教授場として開校

に移転改築した。50年(昭和25年)に中標津町立養老牛小中学校と改称。56年(昭和31年)には屋内体育館が完成し、校歌も制定された。73年(昭和48年)に養老牛少年グリーンクラブを設立。2005年(平成17年)3月に中学が閉校した。

養老牛小学校の思い出

ぼくの一番の思い出は、和琴半島でのキャンプです。湖で魚が釣れたので、とてもうれしかったです。

(一年・長谷川大周)



ぼくが一番の思い出はスキーです。最初は、こわくてすべられなかったけど、先生が上手に教えてくれたからすべられるようになりました。すべられるようになったら、スキーがとても楽しくなりました。

(四年・松下和弘)

私のいちばんの思い出は水泳教室です。クロールができてなくてもういよいよと、あきらめかけたけど、あきらめずにがんばったら、五十メートルも泳げました。その時はとてもうれしかったです。

(六年・株田玲音)

私の思い出の中で、一番心に残っている行事は、スキー教室です。なぜかというところから初めてスキーをやったのに、スイスイ滑ることができたからです。

(二年・本田夏鈴)

ぼくは、和琴半島で行った全校キャンプが一番楽しかったです。みんなといっしょにつりをしたり、水遊びができたからです。

(二年・松下燿大)

ぼくが一番の思い出は、全校音楽です。今年トランペットでした。最初はできないと思いましたが、練習してトランペットで高い音が出せるようになったときは、ほんとうにうれしかったです。

(四年・小林 圭)

学舎の記憶は心にもいつまでも

ぼくのいちばんの思い出は和琴半島でのキャンプです。一年生の時に柳さんがつりを教えてくれました。それ以来、毎年つりを楽しみに行っています。つれた時のうれしさは忘れられません。

(五年・本田竜暉)

ぼくがいちばん楽しかったのは、体育のマット運動と跳び箱です。自分が考えた技をやってみたり、むずかしい技にも挑戦してできるようになったことが心に残っています。

(五年・影山 颯)



私がいちばん心に残っていることは、スキー学習です。宿泊したことにも心に残っているけど、急な坂を上手にすべられるようになった時の気分は最高でした。今年、最後のスキーをがんばりたいです。

(六年・小林千夏)



私が保育所で楽しかったのは、運動会でトンネルをくぐったり、段ボールの車に乗って走ったことや、お父さんで行ったバス遠足です。

(五歳・中村花寧)

ありがとう

地域の皆さんと一緒に楽しんだ運動会や文化祭。

グリーンクラブの活動では、植樹や街頭募金をしました。

農園ではジャガイモや野菜をたくさん育てました。

音楽交流会では会場から大きな拍手をもらいました。

モアン山めぐりが終わったスキーツアー。思い出いっぱい養老牛小学校。

八十三年間ありがとう。ぼくたちは、わたしたちは、わすれません。



ぼくがいちばんうれしかったことは、マラソン大会で六年生の新記録を出したことです。家でも学校でも練習していたので、成果が出せてよかったです。

(六年・井野 忍)



またあえる
作詞・作曲 荒川 洋
一ゆるやかに 流れる雲
深い 青空が 広がる時
シラカバと あさみどり
森の神様が 守っている
ほら ごらん 風がよんでる
ハルニレの声 平野をこえ
離れている 時は過ぎゆき
ヒバリの声が 平和を知らせるよ
高く 羽ばたいて
あなたの 瞳に またあえる
二夢をみる 町の灯を
耕した土が 明日にかわる
ヤマベすむ モアン川
あなたの 帰りを 待ちつづける
ほら ごらん 風がよんでる
ハルニレの声 平野をこえ
離れても 思いはとどく
心はひとつ 平和を 知らせるよ
高く 羽ばたいて
あなたの 瞳に またあえる
高く 羽ばたいて
あなたの 瞳に またあえる



私が保育所で楽しかったのは暑い日の水遊びや、文化祭で皆で踊ったオパレッタ「大きなかぶ」です。

(六歳・関根涼花)

本当に楽しかったね。

(三歳・中村煌太郎)

(三歳・中澤 瑞樹)

(三歳・長谷川周威)

